

保存版

家庭学習の手引き

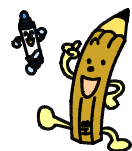
# 家庭を学びの環境に

～進んで学ぶ子どもを目指して～

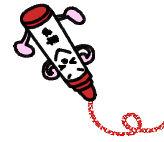


千歳市立 日の出小学校  
千歳市立 祝 梅小学校  
千歳市立 青 葉中学校

小中学校の学習は、将来子ども達が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校で子ども達の学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容がより確かに定着し、学力がより一層伸びていきます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習の手助けとしてご活用下さい。



## 1 家庭学習の意義



家庭学習がなぜ必要なのでしょう。家庭学習によって、次のような教育効果が期待できます。

### ① 学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返すことにより定着していき、宿題を必ずやり、その後に自主学習を行うことで、学校で「わかった」ことが、家庭での反復学習によって「できる」という自信に変わります。

### ② 脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことでは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返すことにより活発に動くようになります。鍛えれば鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。小学生のうちからどんどん鍛えましょう。

### ③ 学ぶ習慣をつける

毎日、家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて習慣化し当たり前になってきます。少しずつでも継続することが大きな力につながります。小さいときから習慣づけることが大切です。

### ④ がまん強さ、根気、集中力をつける

家庭学習の最大の敵、テレビやゲーム等の遊びの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、がまん強さ、根気、集中力を養うことができます。テレビやゲームの時間を決めて、学習や読書等の時間をしっかり確保したいものです。

### ⑤ 家族のふれあい

「本を読んでいるとき、横で聞いてあげる」、「勉強がわからないとき、教えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、コミュニケーションがはかれます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。特に1～3年生にとっては必要です。



## 2 家庭学習のポイント

家庭学習はやり方次第で、効果はぐんと上がります。いくつかのポイントを上げますので、参考にして下さい。

### ① 決まった時間に

---

家庭学習は毎日続けることが大切です。習い事やお出かけ等で予定が組みにくい日もあると思いますが、取り組む時間を決めることが何よりも習慣化のための近道です。用事があるときは先に済ませるとか、テレビやゲームの時間を少なくするなどの工夫も必要になってきます。子どもと十分話し合い、実行して下さい。

### ② 集中して

---

学力を伸ばすためには、集中して学習に取り組むことが大切です。長時間学習することで効果が上がるとは言えません。短時間で集中して勉強することが長続きのコツです。

学年×10～15分を目安にして集中してがんばることを心がけて下さい。

### ③ テレビや音楽を消して

---

テレビを見ながら、おやつを食べながらの「ながら勉強」は効果が上がりません。高学年や中学生以上の子が「音楽を聴きながらやるとはかどる。」と言っているのは間違いです。そのつもりでいるだけです。また、見たいテレビの音が聞こえる環境も子どもは集中できません。

また、整頓された机に向かって学習するようにしましょう。気の散るものが近くにあっては集中できません。落ち着いて静かに学習できる環境作りを心がけたいものです。

### ④ がんばりを認め、ほめて励ます

---

親や教師が、子どものがんばりを認め、ほめたり励ましたりすることにより、自信がつき、進んで学習しようという意欲が高まります。強制したり、間違いをきつく叱ったりすることは逆効果になります。「勉強しなさい!」「わかってる!今やろうとしてたのに!」の繰り返しでは、取り組む前からやる気が起きなくなります。

### ⑤ 規則正しい生活から

---

「早寝、早起き、朝ご飯」は、生活リズムの原則です。生活リズムを整えることが学力アップにつながります。学校でも家庭でも生き生きと学習に取り組めるよう規則正しい生活を送りましょう。

# こんな内容で 全学年共通

今日から始めよう!

## 宿題と家庭学習

学校で学習したことをより定着させるために宿題と家庭学習があります。3年生までは宿題が中心になりますが、宿題は与えられたものなので、それだけでは「自ら学ぶ子」にはなりませんし、宿題がなければ何もしない子になりかねません。宿題をやることはもちろんですが、その他に、自分で課題を決めて家庭学習に取り組むことが大切です。下記にある内容を参考に取り組んでみましょう。

学級や学年によっては、取り組む内容を決めて家庭学習を進める場合もあります。

### 国語

- 教科書の音読（繰り返しが大事）
- ひらがな、カタカナ、漢字の練習
- 難しい言葉の意味調べ
- 視写（ていねいに書くことが大事）
- 新聞の活用（読む、写す、要約する）
- 国語辞典に慣れる。
- 読書      ■日記

### 算数

- とにかく復習  
その日に習った問題をもう一度
- とにかく計算練習（百マスやドリル）

### 生活

- 生き物・植物の観察  
スケッチしたり気付いたことをメモ
- 習ったことをノートにまとめる  
観察実験の図やポイントを入れて
- 図鑑を使って調べ学習

### 理科

### 社会

- 習ったことをノートにまとめる
- 本やネットを活用して調べ学習
- 47都道府県  
■北海道の地名  
■世界の国々 } の暗記
- 社会の問題を自分で作る

### 音楽

- けんばんハーモニカ練習
- リコーダー練習

### 家庭科

- 料理のお手伝い
- 料理レシピ
- 簡単な裁縫

**ドリル等** 市販のドリルや通信教材を購入して学習するのも方法の一つです。自分で〇付けをして学校に提出しても構いません。ただ、与えられたものなので、こればかりでは「課題を見つける力」はつきません。ノートでの家庭学習も必要です。

**テスト前は** テストの日にあわせて、そのための復習を必ず家庭学習で行う習慣をつけることが、なにより大切です。



## 1・2年生 基本的な学習習慣をきちんと身につける。

# 1 2 年生

### 学習時間の目安 20～30分

### 「育ち」や「学び」の特徴

- 一人で学習や内容を決めることはまだ難しいです。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、素晴らしい意欲を生み出します。
- いろいろなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがりです。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習内容も身につきます。
- 学童の先生とも連携が必要です。普段の様子を聞いたり、必要なことは相談しましょう。
- 家庭で子どもにできる仕事を見つけて下さい。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。

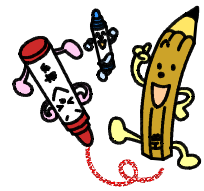
### 学習内容の特色

- 「読み、書き、計算」など、基礎的、基本的な学習が始まります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり実際に体験したりします。
- 繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習準備をする」「鉛筆をけする」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。

## 学年で身につけたい力

### 習慣づけの 1年生

- ◇鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ◇ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ◇助詞「てにをは」を使い分けて文章を書く。
- ◇配当漢字（80字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇たし算やひき算が正確にできる。
- ◇短い詩を暗唱できる。
- ◇学校の周りの様子がわかる。



### 逃げない子にする 2年生

- ◇配当漢字（160字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇順序よく話をするができる。
- ◇九九がすらすら言える。
- ◇たし算、ひき算、かけ算が速くできる。
- ◇筆算がすらすらできる。
- ◇決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ◇時計を見て、何時何分か読むことができる。
- ◇短い詩を暗唱できる。
- ◇地域の様子がわかる。





3・4年生

自ら机に向かう姿勢を育てる。

3

4

年生

学習時間の目安 40～50分

## 「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けが必要です。
- 家族の温かい言葉や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家庭で子どもにできる仕事を見つけて下さい。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。

## 学習内容の特色

- 「総合的な学習の時間」や「社会」「理科」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典を使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字をたくさん習います。
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ $\times$ ・ $\div$ ）の基礎・基本を徹底して学びます。

## 学年で身につけたい力

### 分岐点を乗り越える 3年生

- ◇配当漢字（200字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇詩を暗唱できる。
- ◇主語と述語の意味がわかる。
- ◇かけ算やわり算など正しい手順で計算できる。
- ◇はかりを使って重さが読める。



### 「9歳の壁」を破る 4年生

- ◇配当漢字（202字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇国語辞典や漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ◇文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ◇わり算の筆算ができる。倍を使った文章問題が正しくできる。
- ◇コンパスや分度器を正しく使うことができる。
- ◇ローマ字を適切に読み書きできる。◇詩の暗唱ができる。
- ◇地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- ◇47都道府県の位置がわかり、正しく名前を書くことができる。



**5・6年生 自ら予定を立て、自力で学習を進める。**

**5**

**6**

**年生**

**学習時間の目安 60～70分**

## 「育ち」や「学び」の特徴

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友だちと自分を比べたりするようになります。
- 考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校につなげる大切な学年です。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。
- 家庭で子どもにできる仕事を見つけて下さい。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。

## 学習内容の特色

- 「家庭科」の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 学習内容が多くなる上に、社会や世界に目を向けた学習もします。
- 筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えてきます。
- 自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験させ「学び方」「ものの考え方」を育てます。

## 学年で身につけたい力

### 学力の差がつく 5年生

- ◇配当漢字（185字）のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。
- ◇詩を暗唱ができる。
- ◇分数・小数のかけ算やわり算ができる。
- ◇割合や百分率を使った問題を解くことができる。

### 自分次第の 6年生

- ◇小学校で習った漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ◇小学校で習った漢字を使った熟語の8割以上が書ける。◇詩を暗唱ができる。
- ◇歴史に残る古文をいくつか暗唱できる。
- ◇整数・分数・小数の四則計算が正しくできる。
- ◇歴史上の人物や出来事について、だいたい説明ができる。
- ◇憲法や政治のしくみがわかる。
- ◇世界の主な国々の位置を正しく示すことができる。

